

は し が き

この記録は、平成4年7月26日執行の第16回参議院議員通常選挙及び平成4年2月9日から平成4年12月27日までに執行された海区漁業調整委員会委員一般選挙、筑前海区漁業調整委員会委員補欠選挙及び市町村長、議会議員選挙の結果を収録したものです。

国会法の改正により、通常国会の召集が12月から1月に変更され、第123回通常国会の会期は1月24日から150日間となり、第16回参議院議員通常選挙は任期満了（平成4年7月7日）後に執行されることになりました。国会は、PKO法案、共和問題をめぐって審議が難行し、政治家や政党の動きが注目されました。また、平成元年に執行された第15回参議院議員通常選挙において起きた与野党逆転状況の中でこの3年間の野党の力が今回の選挙において評価される形となりました。

本県選挙区では、定数3に対し、7人が立候補しましたが、公明党候補が自民、社会を抑えてトップ当選で前回に引き続き1議席を獲得し、また、自民党の新人が現職をやぶるなどの波乱はありましたが、結果は自民、社会、公明の3党で1議席ずつ分け合う形となりました。

全国的には、自民党が改選議席の過半数を獲得しましたが、与野党逆転の状況はまだつづくこととなりました。比例代表については、38の政治団体が届出をし、その中には既存の5大政党の一つを改選議席で上回る新政党も現れました。

啓発の面からみると、今回の投票率は、全国平均で50.72%と国政選挙史上最低の投票率となってしまいました。選挙管理委員会としては、この現状を深刻に受け止めるとともに、政治への無関心層の増加の原因を解明し、いま一層の政治参加の呼びかけを行っていかなければなりません。

管理執行の面では、大きな問題もなく、無事終了したのは各市区町村選挙管理委員会をはじめ関係各位の多大な御協力の賜と深く感謝する次第であります。

この記録を関係各方面でご活用いただければ幸いに存じます。

平成4年12月

福岡県選挙管理委員会

委員長 田 辺 俊 明